【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公表番号】特表2015-507021(P2015-507021A)
【公表日】平成27年3月5日(2015.3.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-015
【出願番号】特願2014-557863(P2014-557863)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｋ　47/36　　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　 9/24　　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　47/02　　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　 9/24
Ａ６１Ｋ　47/02

【手続補正書】
【提出日】平成28年2月10日(2016.2.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
人の口内に維持された場合に、可塑化あるいは分解せずに一体物として口内に接着して残留する、２面を有する接着トローチであって、
（ａ）略ディスク形状であって、二次元において少なくとも５ｍｍの略平坦面を有し、唾液中に放出される成分を含む第１の層を形成するステップと、
（ｂ）略ディスク形状であって、二次元において少なくとも５ｍｍの略平坦面を有し、１０部の水に溶解されると混合物のｐＨが５．５以上となるように十分な量の炭酸カルシウムと混合された少なくとも８０％のアラビアゴムを含む第２の接着層を形成するステップと、
（ｃ）得られるトローチの第１の面全体が接着性となり、第２の面全体が接着性ではないように、前記各層の面同士を互いに接着するステップと、
を含む方法によって製造される、接着トローチ。
【請求項２】
前記炭酸カルシウムの粒子は、湿潤顆粒化プロセスで前記アラビアゴムの粒子に接着され、得られた組み合わせられた粒子は、２層錠剤プレスによって２層トローチにプレス加工される、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項３】
前記炭酸カルシウムの粒子は前記アラビアゴムの粒子と乾燥混合され、得られた混合物は２層錠剤プレスによって２層トローチにプレス加工される、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項４】
前記炭酸カルシウムの粒子は前記アラビアゴムの粒子と湿潤混合され、得られた混合物は乾燥されて顆粒状に加工され、該顆粒は２層錠剤プレスによって２層トローチにプレス加工される、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項５】

前記炭酸カルシウムの粒子は前記アラビアゴムの粒子と湿潤混合され、得られた混合物はシート上で層状に広げられ、該シートは２層トローチに切断加工される、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項６】
前記炭酸カルシウムの粒子は前記アラビアゴムの粒子と混合され、得られた混合物は加圧押出し加工されて２層シートが形成され、該２層シートはトローチに切断加工される、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項７】
個別のトローチに分離するように前記シートをホットスクイッシュするダイスによる前記シートのホットプレスによって形成され、続いて冷却されて製造される、請求項６記載の接着トローチ。
【請求項８】
前記接着層は、重力に抗して本接着トローチの重量の３倍を保持するのに十分な接着力で人の口内の上側に接着する、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項９】
前記接着層は、重力に抗して本接着トローチの重量に加えて６８０ｍｇを保持するのに十分な接着力で人の口内の上側に接着する、請求項１記載の接着トローチ。
【請求項１０】
人の口内に維持された場合に、可塑化あるいは分解せずに一体物として口内に接着して残留する、２面を有する接着トローチであって、
（ａ）略ディスク形状であって、二次元において少なくとも５ｍｍの略平坦面を有し、唾液内に放出される成分を含んだ第１の層と、
（ｂ）略ディスク形状であって、二次元において少なくとも５ｍｍの略平坦面を有し、１０部の水に溶解されると混合物のｐＨが５．５以上となるように十分な量の炭酸カルシウムと混合された少なくとも８０％のアラビアゴムを含む第２の接着層と、
を含んでおり、
（ｃ）得られるトローチの１面全体が接着性となり、且つ他面全体が接着性でないように、前記の層の面同士が互いに接着されて形成される、接着トローチ。
【請求項１１】
人の口内に維持された場合に、可塑化あるいは分解せずに一体物として口内に接着して残留し、且つ二次元において少なくとも５ｍｍである接着トローチであって、
（ａ）唾液中に放出される成分を含む第１の層と、
（ｂ）１０部の水に溶解されると混合物のｐＨが５．５以上となるように十分な量の炭酸カルシウムと混合された少なくとも８０％のアラビアゴムを含む第２の接着層と、
を含む、接着トローチ。